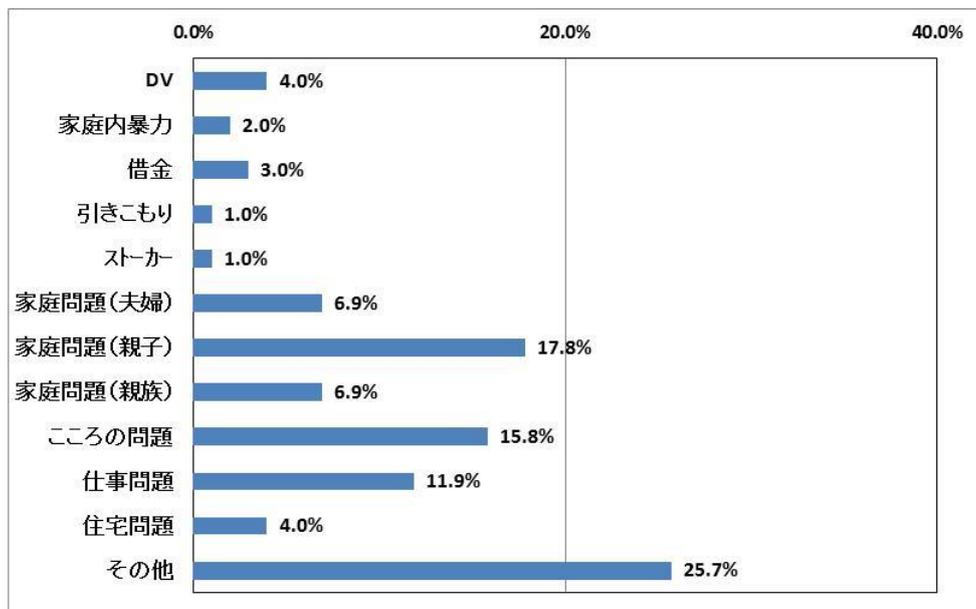


【2014年10月 相談レポート】～10月は「その他」に含まれる相談～



月次レポートを毎月ご覧いただいている方の中には、「『その他』ってなんだろう？」と疑問に感じている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今月は、他の項目に分類されず「その他」に入っているご相談内容の一部についてお伝えします。毎月、「その他」に該当される項目はバラバラですが、今月は「不倫に関わる相談」が特に目立ちました。夫婦問題以外の「男女問題」については「その他」に分類され、駆け込み寺では年齢に関係なく寄せられることの多い相談内容の一つです。

ある相談では、結婚後25年以上連れ添ってきた夫に若い愛人がいることがわかり、長年尽くしてきた妻が、悔しさのあまり夫と不倫相手を訴えようとするケースです。覚悟を決めている場合は、妻側もすぐに短気を起こさず、具体的に証拠を掴んでからしばらくは相手を泳がせておき、証拠となる記録を残し続ける。これは後々、相手に対し請求を起こすための証拠が増えるということもあります。

他には、相談に来た20代後半の女性。20代前半で恋愛結婚し子どもにも恵まれ、傍から見れば順風満帆、本人も全く何不自由ない生活を送ってきました。単身赴任中の夫が隔月に1度帰宅しては、妻の容姿や能力について暴言を吐くようになります。さらに、夜の生活では今までされたことのないプレイを要求されるようになり、応じなければ暴力が激化。以前とは違う夫の変貌ぶりに、妻は夫の浮気を疑うようになりました。自暴自棄に陥った妻は、繁華街で声を掛けられ、その流れで風俗店で働くようになったといいます。しかも、そこで出会った年下の店長と不倫に走ってしまいました。しかし、現実に戻される虚しさと、世間の目を気にしはじめたところで相談に訪れました。

目の前の欲望に流されてみるか、理性の判断で抑制するか。テーマは違っても、生きる上では尽きない悩みですね。

～悩みごとや困りごとがありましたら公益社団法人日本駆け込み寺へ～

ご相談は、以下の電話番号からどうぞ

◆新宿歌舞伎町駆け込み寺:03-5291-5720 ◆仙台国分町駆け込み寺:022-395-7740